

本市初の協力隊。商店街の活性化を支援

地域おこし協力隊活動事業

予算額 387万円 (新規)

外部からの視点で地域の魅力を再発見・再考する「地域おこし協力隊」。中心市街地の商業活性化を図るため、本市では初めてとなる地域おこし協力隊員(1人)を配置します。地域の皆さんと共に、商店街の新たな魅力づくりを進めます。

宮内商店街「うさぎ商店街」



(担当課：商工観光課)

農業用水の安定供給のために

米沢平野二期地区国営土地改良事業負担金

予算額 1億5,000万円程度

米沢平野二期地区は、約8,800ヘクタールの水田を中心とした農業地帯で、その範囲は本市を含む2市2町にまたがっています。

基幹水利施設の老朽化などにより、平成18年度から水窪ダム、頭首工、揚水機場、幹線水路等の改修を行っており、この改修により、施設機能の回復と維持管理の負担軽減、用水不足の解消が図られます。

※事業完了は今年度内を予定。当該国営事業に対し本市負担を行うものです。



(担当課：農林課)

多様な交流を促す芸術文化の創造拠点

文化会館がいよいよ10月開館

【施設整備】 予算額 3億7,270万円 (継続)

【管理運営】 予算額 8,954万円 (新規)

10月のグランドオープンに向けて、3月に竣工した「文化会館」。今年度はいよいよホールを始めとした音響・照明・大道具などの整備に入ります。

現在、こけら落とし公演や自主事業公演などの興行誘致活動を行っています。質の高い芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の皆様の活動発表の場としても機能します。交流人口増の起爆剤として活用し、人が集い賑わいのある南陽を目指します。

(8ページに関連記事)

「文化会館」外観



(担当課：みらい戦略課)

「菊のまち南陽」を全国に発信

全国菊花大会を開催

予算額 500万円 (新規)

第51回全日本菊花連盟全国大会が本市で開催されます。全国の菊作り名人が丹精込めて作り上げた銘花が一堂に展示される予定です。

菊花愛好者などの観光誘客を促進するとともに、南陽の菊まつりに合わせて大会を盛り上げ、全国一の技と文化を誇る「菊のまち南陽」を全国にPRします。

(担当課：商工観光課)



緊急・災害時の情報を的確かつ迅速に伝達

デジタル同報系防災行政無線を整備

予算額 4億円 (継続)

地震、水害などの災害時に、防災情報を迅速に市民の皆様に伝えるため、同報系防災行政無線を整備します。



市内各所に設置する屋外拡声子局(屋外スピーカー)などを通じて、市役所から一斉に情報を伝えます。また、より確実な情報伝達ができるよう公共施設等の屋内に戸別受信機を設置します。

屋外拡声子局(左)と戸別受信機(それぞれイメージ)

(担当課：総合防災課)

安全安心な生活環境を整備

排水路の雨水処理対策に重点

予算額 700万円 (継続)

地域協同で住み良い生活環境をつくる安全安心生活環境整備事業。これまでは衛生面で緊急性がある生活排水路が整備の対象でした。

2年連続の豪雨災害を受け、浸水、冠水の恐れがある個所の排水対策に重点を置いた排水路整備を行います。

(担当課：雨水排水路整備については建設課)



安全なまちづくりと省エネルギーを推進

LED防犯灯整備に補助

予算額 103万円 (新規)

夜間の安全確保と犯罪防止、省エネルギーの推進を図るため、町内会などでLED防犯灯を新設したり、複数で更新したりする場合、その経費の一部を限度額の範囲内で補助します。

(担当課：市民課)

子どもを産み育てやすいまちづくり

3人っ子ハッピーサポート事業

3人目の子どもを生み育てやすくするための支援を行います。

経済的な理由などで第3子以降の出産等をためらう家庭に対し、子育て等の費用負担を軽減することで、その後押しをしていきます。



【第3子以降の保育料を無料に】

予算額 1,000万円 (新規)

第3子以降(第1子とカウントできる子どもは中学3年生以下とします。以下同じ)の、幼稚園、保育園、児童館、認定こども園等の保育料を無料化します。

※所得制限があります。

【妊娠確定前の診療費を補助】

予算額 50万円 (新規)

第3子以降の妊娠確定までに医療機関に支払った診療費用のうち、1万円を上限に補助します。

(担当課：すこやか子育て課)

助成の対象を男性にも拡大

特定不妊治療費助成事業

予算額 200万円 (継続)

特定不妊治療(体外受精および顕微受精)を受けた夫婦に対して、その治療費の一部を、県の助成に上乗せして助成します(昨年度からの継続)。県では、同事業において、特定不妊治療の一環として行われる「男性不妊治療*」を行った場合も、助成を実施することになりました。



※精子を精巣または精巣上体から採取するための手術等

(担当課：すこやか子育て課)

本市予算の基本方針

第5次市総合計画の実現のため、子育て支援、防災対策など市民生活に直結する施策に重点を置いた予算を編成しました。

【教育のまちづくり】

「小中学生議会開催事業」においては、より実践的な経験を得られるよう内容を一新するとともに、学力向上と共に知的好奇心の醸成を図るべく「小学校学習支援事業」、「ジュニアサイエンス・プログラム事業」を継続して実施します。また、郷土愛をほぐむため、郷学テキストの作成費を予算化しました。今年度開館予定の「新文化会館」関連予算については、舞台、音響、照明等の諸設備の整備費と管理運営に必要な経費を計上しました。

【産業のまちづくり】

高い技術力を持った地域資源を発信する「南陽ブランド」の取り組みを継続するとともに、地域活性化施策として「地域おこし協力隊事業」を新たに実施します。また、観光誘客と文化の継承を図るため、第51回全国菊花大会にかかる「全国菊花大会事業補助金」を予算化しました。
農業関連では、引き続き生産力向上に取り組み各種事業費を配置し、施設の維持管理の軽減と農業用水の安定供給を図る「米沢平野二期地区国営土地改良事業」の負担金を計上しました。環境に優しい取り組みとして新たに防犯灯のLED化を推進する補助を設けました。

子どもを産み、育てやすい環境をつくるため「3人っ子ハッピーサポート事業」として、保育料の無料化、妊娠確定前診療費補助金を新設しました。介護保険事業では、認知症の早期発見・予防を図る「認知症初期集中支援推進事業」と、介護にかかる総合相談支援を行う地域包括支援センターを増設する事業費を新たに予算化しました。
安全・安心な生活環境の整備を推進するため、災害時の情報を一斉に発信する「防災行政無線整備事業費」を新たに予算化し、生活排水路や雨水対策を図るため「安全安心生活環境整備事業」を拡充しました。また、定住を促進するため、引き続き道路網上下水道などの社会資本整備を計画的に進めるとともに、子育て世代の支援、転入人口の増加を図るため「子育て応援定住交付金事業」を継続して予算化しました。

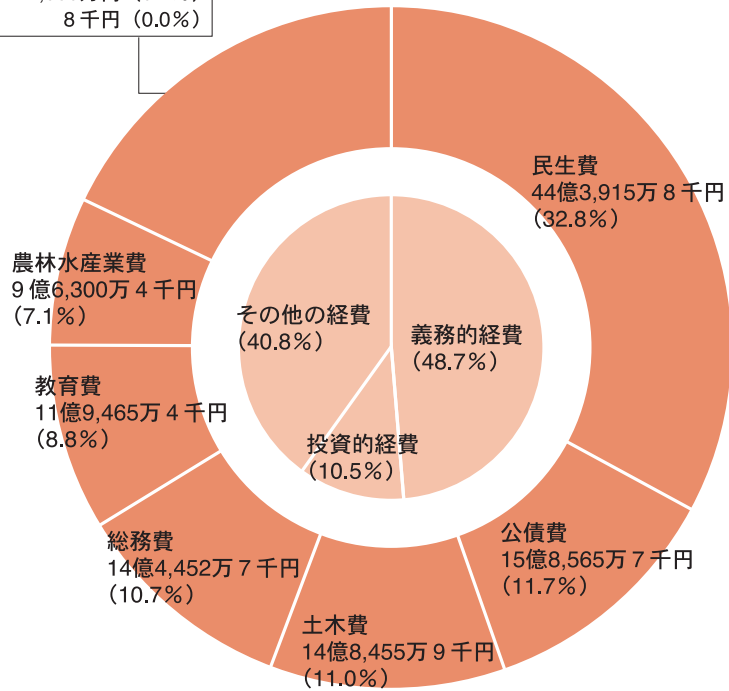
行政の健全化については、引き続き財政の効率化・適正化を図り、各種財政指標の改善に取り組みます。

■歳入 市税については、固定資産税の課税標準の見直しなどにより前年比微減と見込んでいます。地方交付税については、前年度交付実績、国の地方財政対策などから前年比減と見込んでいます。

■歳出 経常経費の抑制と事業の不断の見直しを継続しつつ、子育て支援など生活に密着した社会保障関連経費、市道改良などの社会資本整備費などをバランスよく予算化するとともに、喫緊の課題である防災関連の事業に重点的に予算を配置しました。

歳出

消費費	9億2,101万3千円 (6.8%)	災害復旧費	1億6,381万6千円 (1.2%)
衛生費	7億8,694万6千円 (5.8%)	労働費	5,572万2千円 (0.4%)
商工費	2億8,718万9千円 (2.1%)	予備費	2,000万円 (0.2%)
議会費	1億9,374万7千円 (1.4%)	諸支出金	8千円 (0.0%)



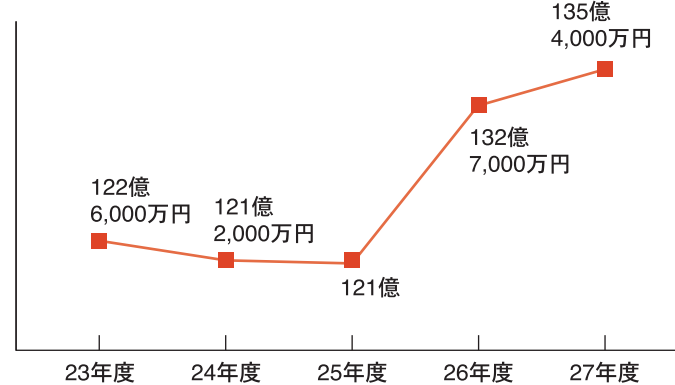
特別会計

区分	当初予算額	前年度比
国民健康保険	40億8,897万3千円	13.4%
財産区	9,656万3千円	△5.4%
小滝簡易水道事業	3,379万7千円	△12.1%
育英事業	596万4千円	0.0%
介護保険	30億6,910万8千円	1.1%
後期高齢者医療	3億1,937万3千円	△0.4%

企業会計

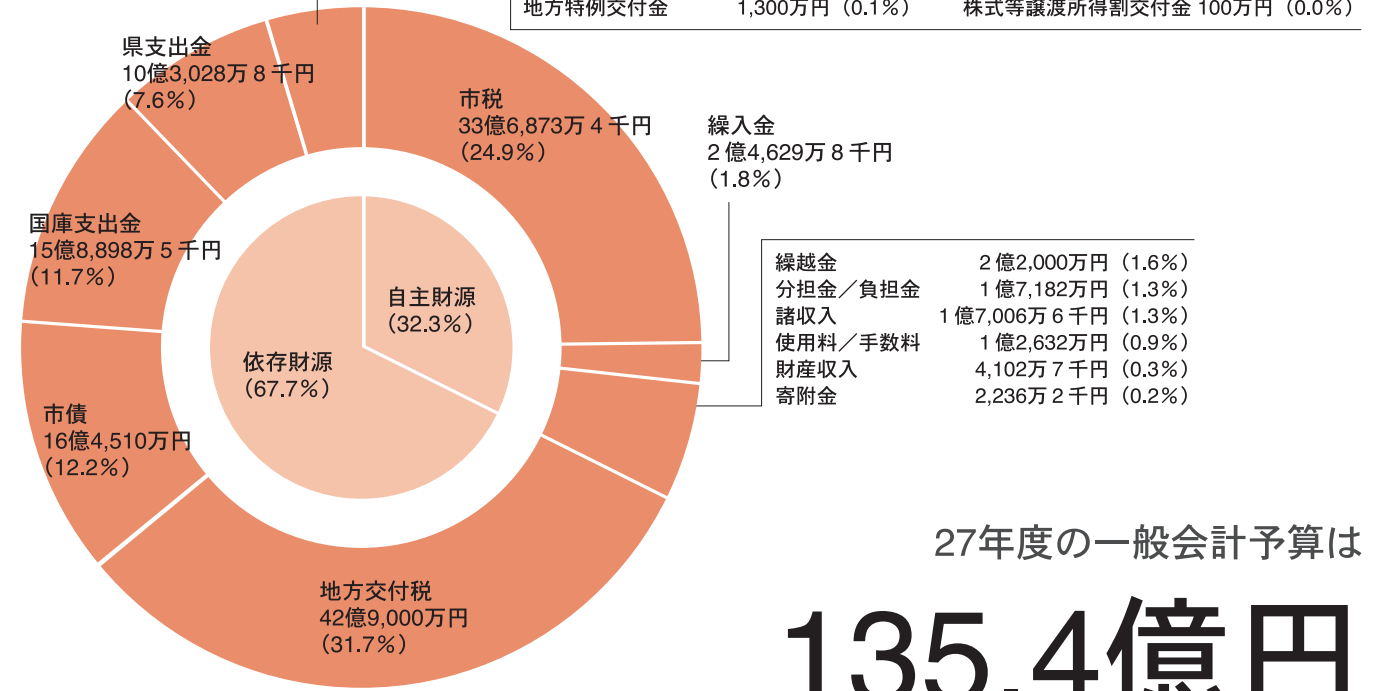
区分	当初予算額	前年度比	
水道事業会計	収益的収入	8億4,743万9千円	△0.3%
	収益的支出	8億954万4千円	0.7%
	資本的収入	5,165万7千円	0.0%
	資本的支出	2億9,261万3千円	1.3%
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、建設改良積立金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てん			
下水道事業会計	収益的収入	10億2,347万1千円	△1.9%
	収益的支出	10億645万2千円	△1.9%
	資本的収入	6億8,784万6千円	2.2%
	資本的支出	10億4,832万1千円	1.7%
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てん			

一般会計の当初予算の推移



歳入

地方消費税交付金	4億4,200万円 (3.3%)	利子割交付金	650万円 (0.0%)
地方譲与税	1億3,150万円 (1.0%)	交通安全対策特別交付金	600万円 (0.0%)
自動車取得税交付金	1,500万円 (0.1%)	配当割交付金	400万円 (0.0%)
地方特例交付金	1,300万円 (0.1%)	株式等譲渡所得割交付金	100万円 (0.0%)



27年度の一般会計予算は

135.4億円

(前年度比2.0%増)

()は構成比

用語解説【主な歳出項目】

【歳出】

- 義務的経費 市の運営のために必ず支払わなければならないお金
- 投資的経費 施設や道路整備など、生活基盤を整えるために使うお金
- 民生費 高齢者、障がい者福祉や子育て支援などに要するお金
- 公債費 市の借入金の返済に要するお金
- 土木費 道路整備や維持管理などに要するお金
- 農林水産業費 農林業の振興に要するお金
- 総務費 市税の課税・収納や戸籍事務などに要するお金
- 教育費 学校教育などに要するお金

【歳入】

- 自主財源 市が自主的に集められるお金
- 依存財源 国や県から交付されるお金や市債
- 市税 市に納める税金（市民税、固定資産税など）
- 繰入金 基金などから一般会計に繰り入れるお金
- 地方交付税 すべての市町村が一定の行政サービスを行えるように国が交付するお金
- 国庫支出金 市が行う事業に対して国が交付するお金
- 県支出金 市が行う事業に対して県が交付するお金
- 市債 借入金のうち長期にわたり返済するもの
- 地方譲与税 国税として集め、全部または一部が市町村に譲与されるお金